

目的関数重み付け Lagrange 関数と
結合離散化勾配系カオスモデルを用いた制約条件付き最適化
(SSI2008 で発表) の訂正

1. 3 ページ目(10e)式

$$C(k)=1-c_1(k)+c_2(k) \rightarrow C(k)=1-c_1(k)-c_2(k)$$

2. 3 ページ目(11)式の次の $A_2(\mathbf{x}^p, \lambda^p)$

$$\nabla_{xx}^2 L(\mathbf{x}^p, \lambda^p) + \frac{c_1 + c_2}{C\Delta T} \rightarrow \nabla_{xx}^2 L(\mathbf{x}^p, \lambda^p) + \frac{c_1 + c_2}{C\Delta T} I$$

3. 6 ページ目 Table1 の g02 のパラメータ

$$P=10 \rightarrow P=20$$

4. 6 ページ目 Table1 の g10 のパラメータ

$$P=10 \rightarrow P=50$$

※ 講演論文集では、印刷の不具合のため、シンボルフォントの文字がすべて表示されていません。
ご入り用の方は、下記までメールをいただければ PDF を提供できるかと思います。

E-mail: takashi@faculty.chiba-u.jp